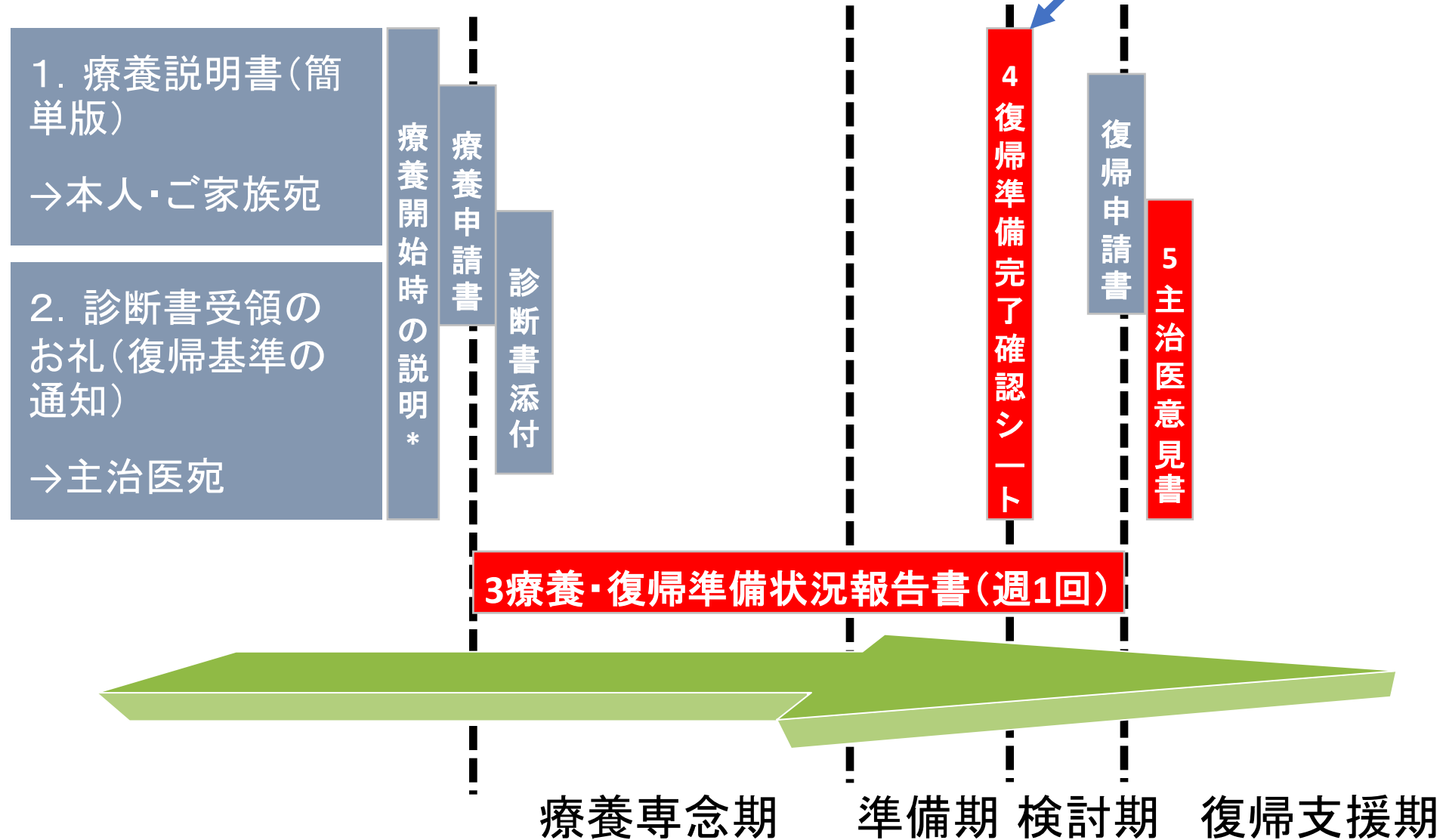


様式詳説シリーズ 復帰準備完了確認シート

- ・旧名称；療養段階確認シート②
- ・核心はその後の面接；業務ができるかどうか viewpoint（病気の改善をみない）
- ・役割を間違えない（できると主張すべきは本人）

最新の手順と様式



★復帰準備完了確認シート → 予備面接

仕事ができそうかどうかを判断する。

業務面にくわえて労務面もチェック。

「チェックリストで会社側が判断」という視点ではなく、各項目について「みなが納得できるように本人が説明をする」という視点（負担軽減）。

復帰準備完了確認シート(復帰準備期→復帰検討期の確認)

社員番号:

氏名:

記入日:

0. 前提 (はい、または、いいえに1つだけ○をつける)

1. 復帰検討の段階へ進む主体的な意志はありますか？ はい ・ いいえ

2. 復帰検討の段階へ進む事について、主治医は同意していますか？ はい ・ いいえ

3. 会社で復帰検討に関する説明を受けることが可能ですか？ はい ・ いいえ

説明希望日 第一希望: (年 月 日)

第二希望: (年 月 日)

以下、チェックシートです。正直に回答する事で、就業を検討できる状態かどうかを確認します。
(会社に提出する書類であることを鑑み、修正等はビジネスの基本に習って適切に行うこと)

I. 基本的な生活状況(あてはまる番号に1つだけ○をつける)

(1) 起床時刻

- 1:予定した時刻に起きられない事が、週に2回以上ある
- 2:始業時刻に間に合うように起きられない事が、週に1回程度ある
- 3:就業規則に定められた始業時間に間に合うように自分で決めた起床時刻通りに起きることができる

(2) 生活リズムおよび必要性の理解

- 1:起床・就寝時刻、食事時刻・回数等の生活リズムが安定しない状態である
- 2:生活リズムは規則的とまでは言えないが、自分なりの生活リズムなので特に問題としては捉えていない
- 3:安定継続的な就業を実現するうえで生活リズムが重要であることを理解し、規則正しい生活を心がけ、実践できている

(3) 戸外での活動、体力

- 1:毎日2時間ぐらいは外出することができる
- 2:毎日半日ぐらいは外出することができる
- 3:毎日就業時を想定した行動、すなわち週5日問題なく1日8時間かつ／または1週40時間の労務提供を行うに足る体力がある*

*自身が従前に従事していた勤務スケジュールを遂行するに十分な体力が回復していること。(シフト勤務など変則的な勤務も含む)

III(2) 業務への準備

- 1：仕事に戻るため、体力づくりや通勤練習をしているが、業務遂行に関する準備は具体的にしていない
- 2：仕事に戻るため、業務に関する情報収集や、作業能力向上のための具体的な準備をしている
- 3：仕事に戻るための業務に関する情報や作業能力の準備が完了し、体力面もふくめ、すぐにでも仕事が開始できる

IV(2) ルールや秩序の遵守、協調性

1：調子が悪い時に、遅刻をしたり、会社ルール、仕事の約束を守れず迷惑をかける事は、病気なら仕方がないと思う

2：今後は、遅刻をしたり、会社ルール、仕事の約束を守れず迷惑をかける事が無いように努力する

3：集団の課題を理解して業務を行い、ルールを遵守して自分勝手な行動はしないが、時々周囲に合わせる事ができない

4：今後は、常に集団の課題を理解して業務を行い、ルールを遵守して自分勝手な行動はしない自信がある

IV. 自己管理のこと（あてはまる番号に1つだけ○をつける）

(1) 会社や職場への感情のコントロール（この項目は「事実」の有無ではなく、本人の認識を問う）

- 1:「職場や会社のせい」という思いがあり、思い出すと時々気持ちが不安定になる
- 2:「職場や会社のせい」という思いがあつたとしても、他人の意見を聞いたりして自分を振返ることができる
- 3:「職場や会社のせい」という思いはないか、あつたとしても自分で自分を振返り気持ちを安定することができる
- 4:「職場や会社のせい」という思いはない

(2) ルールや秩序の遵守、協調性

- 1:調子が悪い時に、遅刻をしたり、会社ルール、仕事の約束を守れず迷惑をかける事は、病気なら仕方がないと思う
- 2:今後は、遅刻をしたり、会社ルール、仕事の約束を守れず迷惑をかける事がないように努力する
- 3:集団の課題を理解して業務を行い、ルールを遵守して自分勝手な行動はしないが、時々周囲に合わせる事ができない
- 4:今後は、常に集団の課題を理解して業務を行い、ルールを遵守して自分勝手な行動はしない自信がある

出典:「厚生労働科学研究 標準化リワーク評価シート」改変(大幅改変)

【復帰準備期】での質問はこれで終わりです。人事課まで提出(郵送または来社)してください。

■以下の、結果の判断は本人との面接または電話での説明の時に開示することとする。

- ・質問の回答で1, 2に複数の○がつく場合は, 【復帰検討期】へ進むにはもう少し回復が必要です。
- ・(ほとんど)全ての質問の回答で3(またはIVについては4)に○がつく場合は, 【復帰検討期】へ進む状態です。

(人事課の判断)	準備期を継続	・	復帰検討期へ進む
----------	--------	---	----------